

TTC DSL 専門委員会スペクトル管理サブワーキンググループ

日付：2004年5月14日

提出元：イー・アクセス株式会社¹

題名：ADSL バンドプラン（案）について

第10回SWGにおいて、池田リーダから、ADSLバンドプランについての提案があったが、この寄書では、当社の考え方を述べる。

ADSLバンドプランの設定については、以下の理由及び観点から、慎重に議論を進めるべきと考える。

- スペクトル管理標準においてADSL技術のみに対してバンドプランを規定することは、JJ100.1でスペクトル適合性が確認されている他の伝送システム(SDSL、Reach DSL、SHDSL等)との整合性がとれない。
- JJ100.01第3版へ向けてVDSLのスペクトル管理が課題となっているが、ここで規定するバンドプランはVDSLに対しても適用出来ることを前提とすべきである。なお、ITU-T G.993.1では複数（現在は3つ）のバンドプランが規定されており、この国際標準との整合性を担保すべきである。
- 伝送システム間に発生する漏洩（干渉）の大きさは、使用周波数帯域と電力値により専ら決まることになるので、スペクトル管理標準にバンドプランのみを規定することについては合理的ではない（有効ではない）。
- 新たなシステムの開発およびサービス導入を妨げる蓋然性が高い。

なお、ITU-T等におけるDSLの標準化活動において、TTCがADSLバンドプランの概念を強く主張し、DSLの新たな標準の策定にあたって日本国が採用する前提条件とするのであれば、現在のSWGでの議論を収拾する案としてaaa=1104kHzとして今後のDSL標準化を全て当該バンドプランに合わせて進めることを当社としては支持する。

	Up Stream 1 Op: DS OL	Down Stream 1 Op: US OL	DS 2	Adopt VDSL Band Plan
0	25.875	138	aaa=1104	3750 kHz

以上

¹ イー・アクセス株式会社

小畑 至弘 阿部 基成 藤田 敬史 大橋 功